

# 高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するための重要ポイント

～確実に守っていただきたいこと～

高病原性鳥インフルエンザはウイルスを持っている野鳥やその糞へ触れた野生動物あるいは水を介して感染すると言われています。

そのため「やっているつもり」「できているはず」ではなく、「やれているか」、「できているか」を確認し、自分たちの家きんを鳥インフルエンザから守りましょう。

北海道

北海道養鶏会議・北海道食鳥生産推進協議会

# 高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するための重要ポイント！

## 1 人・車輛等からの侵入防止対策

ウイルスが靴底やタイヤ等に付着しているかもしれません！

### (1) 農場出入口

- ①農場への外来者、車輛の入場を制限
- ②出入する車輛の消毒（タイヤ、マット）

### (3) 鶏舎周囲

- ①鶏舎周辺
  - ②農場敷地周縁
  - ③農場内道路
- 石灰消毒

### (2) 鶏舎内

- ① 部外者の立入を禁止
- ② 出入口における消毒槽の設置と交換
- ③ 使用機材の消毒
- ④ 農場専用長靴の設置と洗浄、消毒
- ⑤ 農場専用作業着の設置と洗濯



市販のほとんどの消毒薬がウイルスに有効です！

## 2 野鳥・野生動物による侵入防止対策

わずかな隙間から農場内へ入り込みます！

### (1) 防鳥ネット

鶏舎には、『2cm角以下』の網目の防鳥ネットを上から覆うように、ゆったりと垂らすように張り、隙間を塞ぎ、破損が見つかったら、すぐに補修しましょう。

### (2) 野生動物の駆除と侵入防止

隙間を塞ぎ侵入を防止し、捕獲装置の設置や殺鼠剤を使用しましょう。

また、鶏舎の扉は開け放しにせず、すぐに閉めましょう。

### (3) 農場内外の整理整頓

鶏舎内、周囲における野生動物の隠れ場所、繁殖場所をなくしましょう。



### 3 飲用水・飼料の汚染防止

新鮮で綺麗な水・餌を与えましょう！

- (1) 新鮮な水道水を使い、貯水タンクを清潔に保ちましょう。
- (2) 水道水以外を使用する場合、遊離塩素濃度が0.1ppm以上含まれるように調整し、濃度を定期的に確認しましょう。
- (3) 飼料タンク付近に餌をこぼれないよう、清潔に保ちましょう。
- (4) 飼料倉庫等は、野鳥・野生動物等の侵入防止を図りましょう。



### 4 鶏の健康管理及び取扱い

異状があればすぐに獣医師や家畜保健衛生所へ相談しましょう！

- (1) 健康な鶏の導入や死亡鶏の適切な処理を行いましょう。
- (2) 鶏舎内の環境整備（適正な飼養羽数と良い換気）など、飼養管理の向上を心がけましょう。
- (3) 死亡鶏は毎日取り出し、羽数を記録しましょう。
- (4) 導入鶏、出荷鶏の羽数等の記録をしましょう。

(5) 高病原性鳥インフルエンザを疑われる異状を認めた場合、速やかに、家畜保健衛生所に通報しましょう。



### 5 鶏糞の処理

ウイルスを拡げないようにしましょう！

- (1) 鶏糞は農場内で適切な水分管理をして十分に発酵させましょう。（中心温度70℃以上）
- (2) 生鶏糞を農場外に持ち出す場合、こぼれ落ちないように注意し、鶏糞から他の農場への病原体の拡散に注意しましょう。
- (3) 鶏糞処理施設には、防鳥ネットを張りましょう。

60~70℃の高温では速やかに感染力を失います！

### 6 鳥インフルエンザに対する理解

日頃から鳥インフルエンザに関する知識の習得に努めましょう。

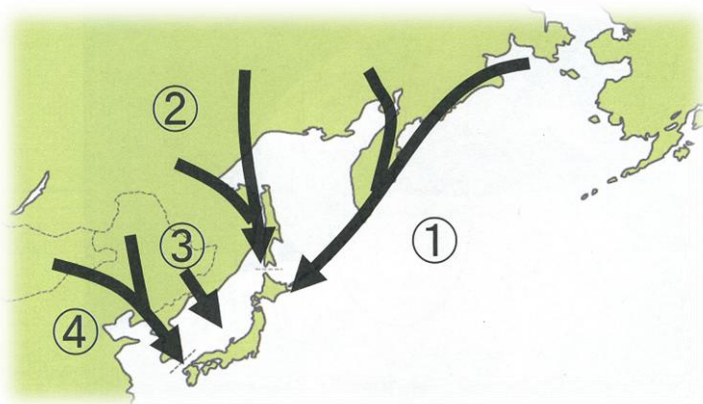
## 高病原性鳥インフルエンザの症状と伝搬様式

- 〈症状〉
- 急死、死亡率の急激な上昇
  - 神経症状
  - 沈鬱
  - 食欲消失
  - 産卵率の急激な低下や停止
- 〈伝搬様式〉
- 感染した鳥類との直接接触。
  - ウイルスに汚染された排泄物、その排泄物に汚染された水、飼料、排泄物が付着した機具機材、野生動物、人の手指・靴等を介して伝搬。



## 野鳥の渡りとの関連性

- 高病原性鳥インフルエンザの発生と渡り鳥の移動との関連性が指摘されている。
- 夏、営巣地において野鳥間での感染を繰り返し、高病原性鳥インフルエンザに変異。
- 秋～冬の南下とともに国内に高病原性鳥インフルエンザウイルスが侵入。



渡り鳥の主な渡りルート  
(南下9月～12月、北上3～5月)

- ①カムチャッカ半島ルート
- ②サハリンルート
- ③日本海ルート
- ④日本海ルート